

若手の研究者
10人に奨励賞

インコス財団

東北の若手研究者に贈られるインテリジエント・コスマス奨励賞の授与式が15日、仙台市であった。

表彰制度を主催するインテリジエント・コスマス学術振興財団（仙台市）の沢田康次理事長が「独創的な研究を続け、東北のために成果を発信してほしい」と述べ、受賞者に記念の盾を手渡した。

受賞者を代表し、電子デバイスや医療分野への応用が期待できる超高感度磁気センサーを開発する東北大金属材料研究所の関剛斎准教授は「飛躍的な発展が期待できる領域。今後も挑戦していく」と話した。

16回目の今年は東北と新潟の7県から応募が27件あり、選考委員会が受賞者10人を決めた。受賞者には研究助成金20万円が贈られる。

他の受賞者は次の通り。

（敬称略）

松原正和 東北大大学院理学研究科准教授、上條利夫 鶴岡工業高専教授、多賀谷基博 長岡技術科学大大学院工学研究科准教授、大森俊洋 東北大大学院工学研究科准教授、尾形慎福 福島工業高専准教授、佐藤拓 仙台高専総合工学科准教授、横山拓矢 岩手医科大学医学部助教、三好智博 松本歯科大学歯学部講師、塚本宏樹 東北大大学院薬学研究科助教